

1月号

第466号

いっしん

令和6年(2024年)

発行：金光教加治木教会 〒899-5213 鹿児島県始良市
加治木町朝日町130発行責任者：矢野文枝 TEL/FAX 0995-62-2895
Mアドレス hittobe.konkaji@gmail.com (HP)http://kajikikon.konjiki.jp/《HPの「いっしん」はカラーで見れます》

喜びは
人の心の
真なり
日々を喜び
礼びてぞゆけ

甘木親教会
初代教会長
安武松太郎師御教

11教165年／小倉教会布教139年／甘木親教会布教120年／加治木教会布教73年



今日もまた神のみかげに我ありと
思えば楽し喜びの春
喜びは人の心の真なり
日々を喜び礼びてぞゆけ

少年少女会

ミニ門松作り

年の瀬が迫ってきた十二月十六日
〔日〕少年少女会「ミニ門松作り」が開
かれました。

「門松」は、お正月に「年神様」と
しがみさま）が訪れられる目印とな
り「年神様」が幸せというお年玉を
持ってやって来られるという慣わし
は、まるでクリスマスにサンタク
ロースがプレゼントを持ってやって
くるようなお話ですね。

開会儀礼で、そのようなお話があ
って始まった少年少女会、まず紙芝
居「山のおもちゃつき」でし
た。山の動物たちが協力し合っ
て、子供たちのお餅つきをまねて餅をつ
くという、餅つきの文化と協力する
ことの大切さを教える童話でした。

教祖様のみ教えをはじめ、先人の
教え伝えた文化の意味合いや、協力
することにより平和で心豊かになる
世界が生み出されることを伝える、
尊い少年少女会活動を今年も共々に
推し進めさせていただきましよう。

4ページにも
少年少女会

少年少女会「ミニ門松作り」… P1・4
信徒部教区委員会報告… P3

新春のご挨拶(教会長)… P2
お知らせ・教会行事… P5～6

令和六年の

新春をお迎え

させていただきます



教会長 矢野 章

立教百六十五年、小倉教会布教百三十九年、甘木親教会布教百二十年、加治木教会布教七十三年の新春を迎えさせていただきます、誠に有り難いこととあります。

昨年は、コロナウイルス感染症も第五類に移行され、いろいろな自粛がなくなり、御本部をはじめ全教の教会でもご祭典が以前通りにお仕えされるようになってきたことは有り難いこととあります。

しかし、お道の信心でおかげを蒙らせていただいてまいりました私どもは、今日お道（教団）が人材においても財においても、以前の半分以下という教勢に甘んじてしまってお

ることを看過したままで良いかどうか、今一度省みなければならぬと思わせていただきます。

甘木親教会の布教百二十年という、加治木教会にとっては特に尊いお年柄の年頭に当たり、いっそう加治木教会の信奉者一同が、真に助かり立ち行くおかげを蒙らせていただく実を現わすべく「信心育成」を推進し、信奉者家庭が末の末まで真に助かる実を現わして行く必要があります。

そのためには、甘木親教会初代親先生がみ教え下された「本」の三つの要点《天地の大恩という御神徳と、お道の本である歴代の金光様が日々御祈念・御神働くださった御本部と、御取次ご教導くださった甘木親教会》という「本」を大切にす、いわば「親神様の御立場に立った信心」、それは『安武松太郎 教話集 第十集』『私の頂く安武松太郎師』にある甘木親教会初代親先生から矢野クワ刀自、そして矢野政美大人、いわば加治木教会に伝えられたお道の信心の核心・要諦とも言うべき内容であり、その内容を求め進め深めて行くべきであります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

私どもの幸せは、今助かり立ち行くことができさえすれば良いというのでは自己中心的で自己満足的な幸せと言わざるを得ません。

真の安心・幸せというものは、子孫の末の末まで助かり立ち行くことができる信心・確信が、自分自身の中に、そして子供や孫の末々まで伝わるものができてこそ、初めて、底知れない真の幸せというものの味わいがあると言えます。

そのためには、子々孫々に真の信心を伝えることとあります。

それには、青少年女性の御用・活動を推し進め、青少年の信心育成に取り組ませていただくこととあります。

青少年の信心育成の御用は、祈り・労力・時間・経費・継続力・忍耐力などが最も必要で、だれもが嫌がる御用であります。

だからこそ、そこから眼をそむけず、自ら進んで取り組ませていただいて行くべきであります。

信徒部

南九州教区委員会 報告

(十二月二十二日 共励会にての報告)



上田和也氏

十二月十六(土)・十七(日)、信徒部南九州教区委員会が、熊本県の江田教会と山鹿教会において開かれ、鹿児島教会の内門三朗さん(鹿児島地方教会連合会信徒部会長)と一緒に出席させていただきました。

第一日は、江田教会で、研修と、今年度の行事報告・来年度の行事予定の確認と話し合いが行われました。

研修では、江田教会の教会長でもあります、教務センター所長の菊川信雄先生が「神前拝詞」の意味合いについてお話しされました。

各県(連合会)から二〜三名の信徒部が、十三名出席しての、信徒部の研修では「どちらの教会でも高齢

の信徒が亡くなった後、若い人に信心が続いて行かず、教会信奉者の減少していることにどう対処するかが問題となっている」ということが話題となりました。

また「あいよかけよ」(全国信徒会報)と「金光新聞」の拡販に取り組むことが伝えられました。「あいよかけよ」も「金光新聞」も購読者数が減少傾向にあり、信徒部が拡販を推進して行かなければならないこととでした。

また「三十日信仰取り組み表」(チェックシート)に、来年度も七月に全国で取り組まれるとのことです。(令和五年度は五六三名が取り組み、教主金光様にお届けされました。)

項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
加治木										
御礼の言葉	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
を唱える	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
先での御礼	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
各車(使)時の御礼	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

(進行記録方法) できた ○ ある程度 △
 *実践項目はいくつでもかまいません
 *実践期間は基本的に7月1日~31日
 *記録期間は基本的に先生のお取次をい

第二日目は、山鹿教会の朝参りから始まりました。

朝の御祈念に信徒部に出席した宿

泊者一同で参拝しますと、十名ほどの参拝者があっており、朝の御祈念の後、参拝されてある皆さんが、お結界の近くに集まり教会長先生のお話を聴いておられました。参拝者には、若い方もおられたことが意外でした。

山鹿教会長 林 精喜先生のお話では「甘木教会で修業中には、たくさんのみ教えを頂きましたが、修業を終えて山鹿教会に帰る時に安武文雄親先生から『山鹿教会に帰るのではないぞ、御用に行かせてもらうのぞ』とのみ教えがありました」と、感銘深くお話しになりました。

また、委員会では来年度の全国信徒会の行事では「全国信徒大会 in 福岡」が令和六年九月福岡県糸島市の「伊都文化会館」で開かれる予定です。駐車場は百台のスペースがあるそうです。

講師は金光清治先生で、鹿児島地方教会連合会信徒部からもシタカ力をチャーターして団体で出席の予定を立てられるとのことでした。

報告を終わらせていただきます。

少年少女会

ミニ門松作り

年の瀬の迫ってきた十二月十六日(日)の少年少女会「ミニ門松作り」では、はあらかじめ切りそろえられた竹と、松ぼっくり・松の葉(造花)・梅の花(造花)・ゆずり葉・迎春の札・おおぎの飾り物などで組み立てる作業(工作)でした。

「年神様に、祈りを込めて願いごとを書いて付けておきましょう!」と伝えると、願いごとを書いて貼り付ける会員もいました。

昼食にカレーライスを頂いて、しばらくみんなでお広前でフーセン遊びをして解散しました。

コロナ流行後、三年ぶりに、ようやくみんなで室内会食ができるようになった少年少女会でした。

竹は、中野重子先生の持ち山の竹林から、娘さんの祐子さんの許可を得て採らせていただき、使わせていただきました。



紙芝居
「やまのみんなのおもちつき」



あしあと

加治木教会行事記録

12月

- 1 (金) 報徳月例祭 10時半
- 3 (日) 甘木親教会御大祭
- 9 (土) 清掃御用 10時
- 10 (日) 生利堂光 月例祭 10時半
- 10 (日) 御本部布教功労者報徳祭選擇 10時
- 13 (水) 連布教協議会(加治木) 10時半
- 16 (土) 少年少女会「ミニ門松作り」 10時半
- 16 (土) 17 (日) 信徒部 教区委員会(上田) 10時半
- 21 (木) 清掃御用 10時
- 22 (金) 月例祭・共励会 13時半
- 23 (土) 安武文雄大人立日御祈念 10時
- 29 (金) 清掃御用 10時
- 30 (土) 越年祭 13時半

「改まりの願い」(加治木教会)

自己中心の信心から

親神様の御立場に立った信心に、

親神様を使う信心から

親神様にお喜びいただき

「ご安心いただき

「ご信用いただく信心に、

おかげを信じる信心から

親神様・ご神慮を信じる信心に、

改まらせていただく。

「改まりの願い」は『安武松太郎 教話集 第十集』『私の頂く安武松太郎師』に示されてある信心内容を集約したものです。

ご霊神様の

おまじ



一月

- 中村宗吉 之霊神(4日) 昭和61年
- 松田常衛門之霊神(4日) 大正9年
- 中村正義 之霊神(5日) 昭和21年
- 内村ハル工 之霊神(6日) 昭和59年
- 有馬幸子 之霊神(9日) 平成16年
- 西本五男 之霊神(11日) 平成15年
- 濱口マツ工 之霊神(11日) 平成27年
- 濱口勝次 之霊神(11日) 昭和27年
- 前田正蔵 之霊神(13日) 昭和39年
- 瀬戸セミ 之霊神(14日) 昭和56年
- 小屋敷勝 之霊神(14日) 平成1年
- 信國鈴子大刀自 之霊神(20日) 平成5年
- 中島ふさ 之霊神(20日) 平成16年
- 福山瑞枝 之霊神(20日) 平成21年
- 瀬戸俊子 之霊神(23日) 平成27年
- 柳園義男 之霊神(24日) 昭和8年
- 本中野イセマツ 之霊神(25日) 昭和59年
- 岡山エウ 之霊神(25日) 平成20年
- 桐野仲助 之霊神(27日) 昭和21年
- 瀬尾 清 之霊神(27日) 昭和41年
- 向江フキ子 之霊神 令和5年

「先祖のご霊神様の、現世・幽界(かくりよ)でのお働きあつての今日の私たちであります。」

立日の月には、故人を偲び、玉串を奉てんしてお礼を申し上げます。教会では、十日の月例祭で、霊前での玉串の奉てんを準備しています。

信國鈴子大刀自(国分教会二代教会長)
平成五年一月二十日に満八十九歳でご帰幽になりました。

昭和二十一年に夫信國幾雄大人と共に、国分教会を開かれ、お道の御用に生涯を尽くされ、多くの信奉者を助け導き、現在の霧島市一帯にお道の信心を伝えられました。

昭和四十二年に幾雄大人がご帰幽されたあと、平成五年まで二十六年間、国分教会長としての御用に当たられました。

加治木教会の矢野政美大人・サダ子刀自は、布教当初「早くあのようになご庇礼を頂きたいものだ」と参拝者の多い国分教会を目標とされ御用に励まれたそつです。

また、鈴子刀自のお母様は、甘木親教会の熱心な信者の山部キウという方で、甘木教会初代教会長 安武松太郎先生からの「信頼も厚く、戦時中に甘木教会の在籍教師が出征して少なかった時期に、信者でありながら初代親先生のご命で御結界奉仕の御用に当たられほどで、産婆(助産婦)をされ二代親先生も取り上げられたということでした。



国分教会二代教会長
信國鈴子大刀自

感 詠 (教会長)

けさもまた北極星を探しけり
その下にこそ親教会はあり
小さくも四季を通して動かざる
星に向かいて礼ぶ朝なり
流鏑馬も一矢ははずす習いあり
満つれば欠ぐる伝え尊み

よきことも慢心起こることなる
我が内敵を静かに見つめ

十七度あれば足袋を履かずとも
朝の御用につらさなきなり
六度台朝の冷氣に慣れぬため
ボトル湯たんぼ抱え戸を開く



山茶花

一月三日(水)

甘木親教会年頭参拝

一月六日(土) 十時半より

加治木教会

少年少女会

鏡開き・七草

※おかがみ餅を焼いてのぜんざいと七草たこ焼きを作ります!

一月十日(水) 十時半より

加治木教会 月例祭に併せて

成人感謝祭 奉仕

※成人者、玉串奉奠・記念品授与。

一月二十五日〜二月九日

報徳祭奉迎

寒中一斉信行

ご祈念・研修く午前五時十五分・午前十時 御本部信行期間の感話ビデオ研修など

教会行事

令和六年

1月

1 (祝) ●元日祭 正午

// ※光風館予約日 10時

3 (水) 甘木親教会年頭参拝

6 (土) ★少年少女会「鏡開き」10時半

9 (火) 清掃御用 10時

10 (祝) ●月例祭・成人感謝祭10時半

16 (火) 連合会 執行部会(上荒田 教会にて) 10時半

20 (土) ★バンド練習 19時半

21 (日) 清掃御用 10時

22 (月) ●月例祭・共励会 13時半

27 (土) ★バンド練習 19時半

28 (日) 連合会定期総会(鹿兒島 教会にて) 10時

31 (水) 清掃御用 10時

《未定行事》青年会・若婦人会

2月

1 (木) ●報徳月例祭 10時半

4 (日) 多良木教会 報徳祭 11時

// 甘木親教会初代立日御祈念10時

9 (金) 清掃御用 10時

10 (土) ●月例祭10時半

◆月例祭は祭典のみ、あと清掃御用

11 (日) ●加治木教会 報徳祭 11時

17 (土) ●甘木親教会 報徳祭11時

18 (日) 甘木親教会「同釜会」

21 (水) 清掃御用 10時

22 (木) ●月例祭・共励会 13時半

24 (土) 新田原教会式年祭

29 (木) 清掃御用 10時

★2月からのバンド練習日は、土曜日に習いごとに通う人が多いため「木曜日」にしてみませんか」という意見があるため現在調整中です。

一月二十八日(日)十三時より

鹿兒島地方教会連合会

定期総会

※一教会、教師一名、信徒一名の出席にて開催。

